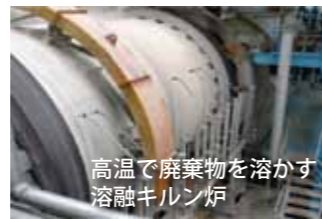


事業所の取り組み

美しい自然を未来の子どもたちへ

主な事業として、鉄・非鉄（銅・アルミ・ステンレス）のスクラップ加工や古紙・廃プラスチックリサイクルなどを行っています。平成22年には、企業活動で生じる環境への影響を持続的に改善することに取り組み、ISO・14001認証を取得しました。鉄などの金属は、新たに精製するよりもスクラップから精製する方がCO₂の排出量を削減することができ、鉄・非鉄のスクラップの受け入れを拡大することで、CO₂削減に貢献しています。また、重機などの燃費向上、工場の節電に取り組んでいるほか、太陽光パネルを設置し、自家消費に回しています。当社の理念は「人と自然との共生」で、地元の方とホタルを守るための河川清掃などにも取り組んでいます。事業活動や地域貢献活動を通じて、未来の子どもたちに美しい自然を残してあげたいと思います。



九州北清株式会社 専務取締役

前野 慶太 さん



廃棄物を資源として有効活用

九州北清株式会社では、廃棄物の焼却やリサイクル事業などを行っています。焼却に使用している溶融キルン炉では、廃棄物を高温で溶融してスラグ（特殊なガラス状の粒）にし、ブロックや路床材の原料に再利用しています。また、排出される飛灰から銅や亜鉛などの重金属を取り出し再利用しているほか、排熱も煙突に排ガスを引き込む誘引ファンやタービンでの発電に利用しています。

現在は、工場の屋上などの太陽光パネルで発電した電気は売電していますが、いずれは自家消費し、再生可能エネルギーにシフトしたいとも考えています。廃棄物は、よりよい活用方法を見出せばエネルギーにもなります。廃棄物を資源と捉え、いかに活用するか。地域で出た廃棄物を資源として地域内で循環させていくことが、ゼロカーボンシティにつながるのではないかと思います。



株式会社ホシヤマ 取締役 大淵 豊 さん

一人ひとりにできること。まずはひとつやってみよう！

私たちにできる取り組み

1人ができる取り組みの中でも、「ゼロカーボンシティこばやし」実現を目指してできることはたくさんあります。下のチェックリストを活用して、一緒に多くの取り組みを行っていきましょう。

チェックリスト

- 電灯をLED照明に替える
- 輸送時のCO₂排出を減らす地産地消を心がける
- 近所は徒歩か自転車で移動する
- すぐ食べる食品は、賞味期限直前の食品を買う
- 自動車の運転は、状況に応じて余裕を持ったアクセル、ブレーキを心掛ける
- 買い物時は、マイバッグ、マイかごを持っていく
- 再生可能エネルギーで発電された電気を使う
- リサイクル製品活用のため、再生素材を使用している商品を選ぶ
- ごみ削減・資源の有効活用のため、ごみの分別を徹底する
- 省エネ型家電に替える
- 住宅の新築・改修は高気密・高断熱化を意識して、省エネで快適に過ごす
- 外出時は、必要に応じてマイ水筒、マイ箸を準備する

Carbon

未来のために、今できること

ゼロカーボンシティこばやし



ゼロカーボンシティってなに？

近年、地球温暖化が原因と考えられる異常気象が多く発生しています。『ゼロカーボンシティ』とは、2050年までに、地球温暖化の主な要因とされる二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す自治体のことです。

日常生活や経済活動などで排出される二酸化炭素を可能な限り減らし、植林や科学技術などで二酸化炭素の吸収量を増やすことで、大気中に放出する二酸化炭素を実質ゼロにすることを目指します。



小林市環境基本計画を改定します

市役所の取り組み

市の環境行政の基本的な事項の方向性を示した「小林市環境基本計画」が、令和5年度に改定になります。改定に当たり、ゼロカーボンシティへ向けた具体的な取り組み内容についても計画に盛り込み、計画に基づいて次年度以降の取り組みを推進していきます。



6月10日の「6月小林市議会定例会」開催日に、宮原市長が2050年までに二酸化炭素の実質排出量ゼロを目指す「ゼロカーボンシティこばやし」を宣言しました。

将来の世代も安心して暮らせる持続可能な経済社会をつくるため、私たち一人ひとりが今できることを考えてみましょう。

●問=生活環境課 Tel 23-8122

私たちとどんな関係があるの？

二酸化炭素は、主に石炭、石油、天然ガスなどの化石燃料を燃やすことで発生します。

経済活動だけでなく一般家庭でも、化石燃料由来（火力発電など）の電気の使用、石油類（ガソリン、軽油、灯油）の使用、ゴミ処理などの場面で二酸化炭素を排出しています。

私たちの生活も、地球温暖化の進行に関係しているのです。



今以上の対策をしなければ

未来はこうなる！？

さまざまな異常気象の原因と考えられる地球温暖化。今以上の対策をしなければ、21世紀末の宮崎では、例えばこんなことが起こってしまうかもしれません。

猛暑日・熱帯夜が増加

宮崎県の猛暑日・熱帯夜の日数は増加しており、将来はさらに増加することが予想されます。

県内では21世紀末までに…

熱帯夜 夜間の最低気温が25℃以上の日 約16日増加
猛暑日 最高気温が35℃以上の日 約28日増加

大雨が増加

気温上昇で大気中の水蒸気が増え、大雨が増加。雨が降らない日も増え、雨の降り方が極端になることで、災害のリスクが高まることが考えられます。

県内では21世紀末までに…

短時間強雨の回数が約2.0倍に

※令和4年3月宮崎地方気象台・福岡管区気象台「宮崎県の気候変動」より